2024.11時点

倶知安町プール絵本館
複合拠点施設

事業運営計画　案

倶知安町教育委員会

1.基本的方針

※基本計画より

●町営プール建替基本構想において、新プールに求められる機能や基本的方針を策定。世代交流センター敷地を主たる候補地と定めるにあたり、老朽化が進む『世代交流センター・青少年センター（絵本館）』も含めて、当該敷地周辺にて整備方針とした。
●基本的方針については、絵本館WS等での意見も踏まえ、基本構想にて設定した目標を更新し、柱となる基本的方針を据え、４点の個別方針を設定した。

■基本的方針

**誰もがいつでも安心して利用でき、多様な活用によって、
世代を超えた交流が生まれる拠点づくり**

- **①バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮し、快適にスポーツや健康増進活動ができる場所の提供**
- **②誰でも自由で居心地の良い空間形成により、コミュニティが生まれ、子ども大人も成長できる。**
- **③施設のメンテナンスや環境への負荷が少ない施設の整備**
- **④周辺施設の機能強化に繋がり、倶知安町の魅力を向上できる建設敷地の選定**

■基本的方針に基づく基本機能

◆プール機能
- ・通年利用を想定した温水プール
- ・年齢や泳力にかかわらず多世代が利用する事ができる機能
- ・学校授業等で使用する事ができるプール機能
- ・幼児が使用する事が出来るプール機能
- ・高齢の方や足の不自由な方でも使いやすいプール機能
- ・水泳競技の利用を維持し既存大会の開催が可能な機能

◆多目的ルーム(世代交流センター)機能
- ・会議やサークル活動で活用可能な会議室機能
- ・空室時は絵本館利用者などが日常的に活用可能な設備
- ・スタジオ運動やフィットネスで活用が可能な機能

◆絵本館機能
- ・幼児/小学生の利用を想定した本の配架
- ・親子での利用を配慮したレイアウト
- ・落ち着いて読書が利用出来るスペース
- ・読み聞かせが出来るスペース
- ・ボランティアやサークル団体等と連携可能な機能

1.基本的方針

■基本的方針とアウトカムの相関

誰もがいつでも安心して利用でき、多様な活用によって、
世代を超えた交流が生まれる拠点づくり

体育施設
（プール）

・・・ こどもからシニア世代まで幅広く利用できる

✖

文化施設
（絵本館・多目的ルーム）

・・・ 図書施設でありながら「動」の要素も持つ
倶知安町独自の施設

✚ **集う** **過ごす** **交流** **支え合う**

複合的な活用により、世代を超えたコミュニティを創出し
「健康分野・教育分野・子育て分野」など横断的に相乗効果を生み出す。

■【第６次倶知安町総合計画】

くっちゃんで暮らす幸せを感じる	くっちゃんで交流する幸せを感じる

1.基本的方針

■倶知安町の特徴

・倶知安町は北海道／札幌市と比較して、年少人口や生産年齢人口の比率（子育て世代）が高く、高齢化率が低い
・合計特殊出生率は全道でも上位で、非過疎地域自治体としては最上位に位置する。
・国や道の出先機関や銀行等の支店なども多く転出入者数が多い傾向にあり社会増減が大きい。
・冬期間は外国人スタッフが増加し人口の15%以上を占め、ニセコエリアのリゾート発展に伴い宿泊施設も増加しており人口と同数程度のキャパシティがある。

年齢３階層別人口

・年少人口　11.0%
・生産年齢人口 63.5%
・高齢人口　24.5%
（R6.9.30時点）

<北海道>
・年少人口　10.1%
・生産年齢人口　57.1%
・高齢人口　32.8%
<札幌市>
・年少人口　10.5%
・生産年齢人口　61.0%
・高齢人口　28.5%
（R6.1.1時点）

合計特殊出生率

・倶知安町　１．４９

<北海道>　1.33
<札幌市>　1.09
（H30～R４厚生労働省　人口動態保健所 市区町村別統計）

上位の自治体で非過疎地域はごく少数

人口動態（社会増減）

・転入者比率　23.1%
※外国人除く　7.1%
・転出者比率 17.2%
※外国人除く　8.4%
（R5.4からR6.3異動数/R6.3住民基本台帳）
<北海道>
・転入者比率 4.98%
※外国人除く　4.53%
・転出者比率 4.87%
※外国人除く　4.66%
（R5.1からR5.12異動数/R6.1住民基本台帳）

交流人口

・外国籍住民
（R5.9.30時点）　871人
※5.98%
（R6.1.1時点）2,897人
※17.46%

・観光客入込数 1,304千人
（R5年度統計）

・町内の宿泊受入人数
約15,000名

2.事業運営計画

※基本計画より

- ２.既存施設の利用状況　及び３.基本的方針を基に、新施設の利用について以下の通り設定する。
- これまでの各施設での利用に加えて、複合的な機能を生かし多世代が多様な活用が図れるよう想定する。

■利用者の想定

◆町民の利用
- 交流拠点として子どもからシニアまで世代や国籍を問わず幅広い利用を想定
- 子どもたちが集える場として絵本館や多目的ルームを活用
- 専門ノウハウを持つ指定管理者によるシニア世代への介護予防事業を実施

◆町外からの利用
- 周辺町村に通年営業のプールがないことから、他町村からの利用が見込まれる。
- 国内外から多くの観光客が訪れるニセコリゾートの中心地として、滞在者がインドアで利用可能な施設として活用
- 大会や合宿、イベント等でプール及び多目的ルームを活用

◆団体・サークル活動
- 幼児／小学生／シニア向け等で実施されていた各活動を新施
- 指定管理者との連携・協力により自主事業等による幅広い世代の定期的な利用を期待
- 絵本館/多目的ルームを活用し、読み聞かせや幼児向けサークル活動を実施
- 子育て活動やイベント等の拠点的な施設として活用
- 水泳協会等による水泳大会の開催

◆学校授業（水泳授業）での利用
- 既存プールでは小学校５校中４校が町営プールを利用しており、１校は学校プールを活用
- 新施設では町内義務教育学校すべての水泳授業を受け入れる事とし、平日午前中の利用を想定
- 指定管理者と指導者の派遣／補助などの連携を検討する。

■複合的な活用について

- プール・絵本館・多目的ルームが一体となった複合施設の整備により、親子、兄弟・姉妹、シニア、３世代での施設利用、読書や読み聞かせ、プール教室の参加など、多様な利用機会が創出され、世代を超えた活用が可能。
- 複合施設内だけではなく、周辺施設一体の連携により、世代間交流や健康づくりの増進に相乗効果を図る

先進地事例）埼玉県和光市わピア　市民プール×児童センター

（複合点な利用）施設担当者へのヒアリングより
・上の子がプールを利用し、保護者と下の子が児童センターで遊ぶ。
・プールスクールが終わった後に絵本を読む。・宿題の後にプールに行く
＝回遊性が高く子どもたち同士や、保護者含めたコミュニティ創出に大きく寄与

2.事業運営計画

■具体的な活用の想定①

◆指定管理事業者の自主事業

・プール施設は管理ノウハウを持つ事業者による指定管理者制度の導入を想定。日常的な管理運営と併せて、サークル・少年団活動の状況も考慮した自主事業による水泳教室や多目的ルームを活用した健康教室等を実施

【先進地域で実施している自主事業】

・子ども(ベビースイミング、幼児向け、小学生)向け水泳教室
・夏休み短期水泳教室
・スタジオ運動（ヨガ、ストレッチ等）
・プールやスタジオを活用した高齢者向け介護予防運動

◆地域団体との連携

・旧プールで水泳協会で実施していた短期集中型の水泳教室を指定管理事業者との連携により再開する。
・水泳大会の開催時は２階観覧スペースと多目的ルームを活用

◆防災教育や訓練を実施

・倶知安町は一級河川に市街地が隣接していることから、水害対応の重要性が高い。中学生／高校生などで着衣水泳の実施することで防災教育を行うことが可能。
・リバーアクティビティが活発な地域でもあり、プール・多目的室を活用した救急救命の講習などの需要がある

2.事業運営計画

■具体的な活用の想定②

◆放課後子ども教室

・小学生を対象に、平日の放課後や土曜日、夏休み等に、小学校の余裕教室や体育館、公民館等において、多様な学習・体験プログラムを実施する取組
・多目的ルームは移動間仕切で可変性が高いため、絵本館と連動して多様な体験活動での利用を想定する。

【例】学習支援（予習・復習、補充学習・ICTを活用した学習活動など）、体験プログラム（実験・工作教室、英会話、文化・芸術教室、地域探検、農業体験など）、スポーツ活動（野球、サッカー、バドミントン、卓球、一輪車など）

≪地域の家庭教育支援等に資する取組≫　後志管内発

「ありのまま」で過ごせる場所の提供

～くっちゃん子ども子育て応援し隊 Popke Lab(ポッケラボ)～

くっちゃん子ども子育て応援し隊 Popke Lab(以下 ポッケラボ)は、令和元年10月に倶知安町に住むママさんが立ち上げた子育てボランティア団体で、倶知安町の家庭教育支援チームとして、子育て中の親を支える様々な活動を展開しています。また、令和4年度には、家庭教育サポート企業として道教委と協定を締結しています。

大人と高校生が食事を提供

モルックで遊ぶ子ども達

ポッケラボでは、発足から現在に至るまで続けられている「子育てサロン」や親子での遊びやイベント活動に加えて、今年度から地域でこどものココロとカラダを応援する「ココカラ」をスタートしました。

「ココカラ」は、月6回(毎週木・金曜日)、15時～18時に町内の北地域会館で親子や小・中・高校生を対象として、「遊び」「体験」「食事」を提供し、世代の違う人と話したり、遊んだり、自由に過ごすことのできる多世代の居場所です。

「ありのまま」で過ごせる場所があることで、子ども達は、「大人になる楽しみ」や「何が必要か」を発見することができ、大人にとっても「子育ち」を地域全体で見守ることができる拠点として活動を続けています。

ポッケラボ公式ブログ

道教育局：家庭教育支援だより（R6.10）

◆社会福祉協議会との連携

・プール、多目的ルームを健康増進やサロン活動に利用（指定管理事業者と連携した介護予防運動など）
・絵本館での読み聞かせなど、子どもたちとの交流活動を実施
シニア世代の活躍できる場や世代交流を創出する。

◆保育所・認定こども園等での活用

・幼児用プールは、プールフロアの活用により水深10センチ程度に調整でき、幼児が利用しやすい。
・多目的ルームを含めて絵本館を活用することで団体利用が可能。多目的ルームでの行事の実施や冬季／雨天時の遊び場所として活用が想定される。

◆観覧スペースの読書／学習スペースとしての活用

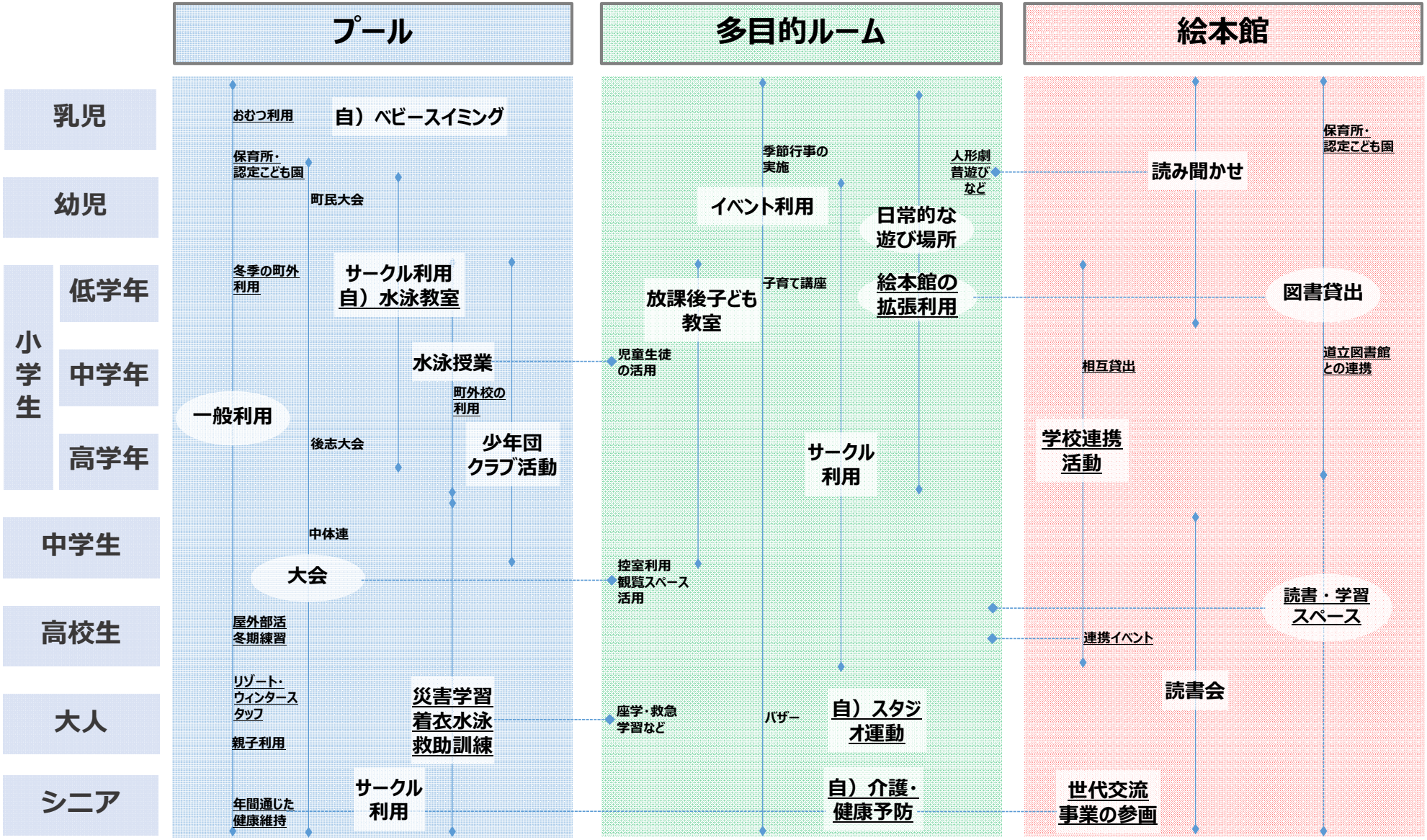
・２階の観覧スペースは窓の扉を閉じることができ、日常的には読書スペ―スや学習スペースとして活用することができる。
・中学生／高校生の学習場所や親子での読書利用などが可能であり、より多世代の利用を促進する。

◆リゾートエリアとしての需要

・国内外から多くの観光客が訪れるニセコリゾートの中心地であり、滞在者がインドアで利用可能な施設として活用、絵本館には外国語絵本も蔵書しており、多文化共生の場としても機能
・特に冬季は多くの外国人スタッフが滞在しており、日常的なトレーニングやフィットネス需要が高くプール利用が見込まれる。

2.事業運営計画

■年代別の利用想定

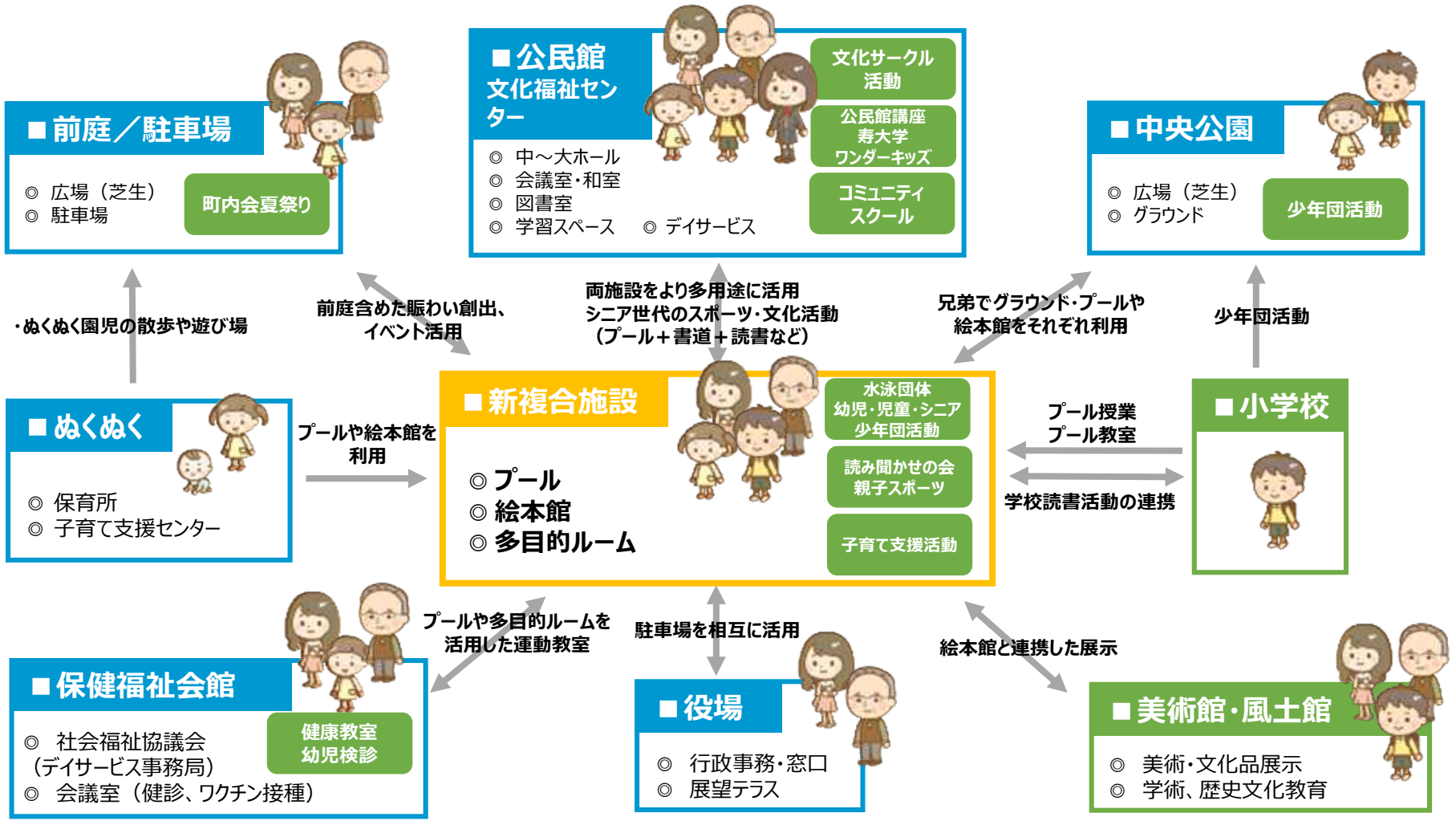


2.事業運営計画

※基本計画より

■周辺施設との連携イメージ

● プールは生涯スポーツとして、幼児からシニアまで多世代が利用可能な種目であり、既存の絵本館・世代交流センター機能も含めると、様々な世代が活用可能な施設となる事が想定される。
● 整備地である青少年センターおよび世代交流センター敷地は公民館（文化福祉センター）と隣接し、周辺に役場庁舎や公民館・保健福祉会館が立地する『公共業務ゾーン』に位置しており、周辺施設との連携により世代間交流や健康づくりの増進に相乗効果があるものと考えられる。



3.新施設の設計コンセプト

※基本設計書より

1-02　設計コンセプト

■施設の位置付け

多世代・多国籍交流を促し、長く親しまれる「文化の中核」

・計画地周辺は公共施設が集約する「公共業務ゾーン」に位置し、町民は一度の外出で連続的な公共サービスを受けることができます。本計画により、多様な利用機会を創出し、周辺施設一体の利便性・機能性を向上させます。

・倶知安町はニセコリゾートの中心地にあり、スノーリゾートの発展や新幹線駅の開業、インターチェンジの開通などにより、子育て世代や外国人世帯などの増加が見込まれます。この場所にプール機能が加わり、公民館と連携強化することで、子育て支援や、健康増進の公共サービスを最大限に享受でき、周囲の学校などの施設との相乗効果により、多様性のある新しい世代･世帯が満足する「文化の中核」をつくります。

■配置・外構・外部計画のコンセプト

にぎわいがしみ出す屋外広場

・利用者の憩いの場となる屋外広場を計画します。

除雪がしやすい整形な駐車場計画

・冬期の除雪作業に配慮し、 駐車場は、まとまった整形な計画とします。

豪雪地帯であることに配慮した落雪・雪庇対策

・建物は、積雪に配慮したシンプルな形状とします。特に冬期の卓越風による雪庇に対して、対策を行います。

■施設計画のコンセプト

分かりやすい機能配置とシンプルな建物ボリューム

・明確な機能配置で、経済的でシンプルな建物ボリュームとします。

誰もが快適に利用できるバリアフリー対応

・身体的な違いや国籍にかかわらず、快適に利用しやすいようユニバーサルデザインの考え方に基づく施設のバリアフリー化をします。

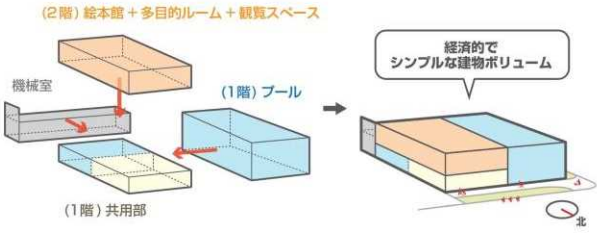
多様な使い方ができる「まちのリビング」のような空間

・多目的ルームと絵本館は、利用状況に合わせて柔軟に活用できる計画とします。

地産地消の再生可能エネルギーで環境負荷を低減します

・再生可能エネルギー手法導入と効率的な設備システムの構築により環境負荷の少ない施設とします。

施設の位置付けイメージ



機能配置イメージ

鳥瞰イメージ

３.新施設の設計コンセプト

※基本設計書より

４.既存施設の利用状況

※基本計画より

■倶知安町営プール

利用期間　**6月1日～9月30日**
利用時間　10：00～20：30　※土日祝は午前10時～午後6時まで
定休日　毎週月曜日（月曜日が国民の祝日に当たるときはその翌日）

利用実績①（年度別利用者数：延べ人数）

区　分		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
利用者数（人）						
	個人	2,724	2,334	2,268	2,379	2,071
	団体（教室・サークル・少年団）	4,781	4,371	4,257	4,517	2,911
	学校（授業、部活動等）	2,562	2,359	2,041	2,096	0
	その他（水泳協会主催教室、大会等）	1,052	1,069	918	684	0
	計	**11,119**	**10,133**	**9,484**	**9,676**	**4,982**
開館実績						
	年間開館日数（日）	111	103	110	102	92

※「その他」の利用者数は、水泳協会実施の小学1、2年生向け水泳教室を含む。

定期的な活動（例）

曜日	火	水	木	金
午前	シニアサークル ３コース 10-13時	シニアサークル ３コース 10-13時	シニアサークル ３コース 10-13時	シニアサークル ３コース 10-13時
午後				
夜間	少年団 ２～３コース 少人数向け教室16-17時 １コース スイミング教室 ２コース 18-20時	少年団 ２～３コース スイミング教室 ２コース 18-20時	親子教室 ５コース 少人数向け教室15-16時 １コース スイミング教室 １コース 18-20時	少年団 ２～３コース スイミング教室 ２コース 18-20時

利用実績②（個人利用者と団体利用者の月別内訳＜令和元年＞：延べ人数）

	個人利用者（人）			団体利用者（人）					計
	中学生以下	高校生一般	小計	教室サークル	少年団	学校授業	その他	小計	
6月	243	185	**428**	851	232	258	313	**1,654**	**2,082**
7月	484	300	**784**	1,094	251	1,032	102	**2,479**	**3,263**
8月	515	379	**894**	957	195	655	127	**1,934**	**2,828**
9月	121	152	**273**	777	160	151	142	**1,230**	**1,503**
計	1,363	1,016	**2,379**	3,679	838	2,096	684	**7,297**	**9,676**

※「その他」の利用者数は、水泳協会実施の小学1、2年生向け水泳教室を含まない。

学校授業（水泳授業）
小学校３校（＋分校　１学校）　午前・午後　各４０～８０人
※４校中１校は学校内のプールを使用、新プールでは全学校の受入を想定

４.既存施設の利用状況

※基本計画より

■倶知安町青少年センター（絵本館）

休館日 **毎週水曜日、年末年始（12月28日～1月5日）**
開館時間 10:00～18:00

■倶知安町世代交流センター

休館日 **毎週水曜日、年末年始（12月28日～1月5日）**
開館時間 9:00～18:00　※火・金以外は21：00

利用実績（絵本館）

	開館日数	対象別利用人数						貸出冊数	登録者数
		幼児	小学生	中学生	高校生	一般	合計		
平成30年度	303	4,497	4,726	147	21	6,894	16,285	39,644	242
令和元年度	277	3,225	2,988	274	11	5,157	11,655	33,356	178
令和２年度	264	2,252	1,750	136	26	3,665	7,829	29,143	118
令和３年度	303	2,819	2,326	136	16	4,895	10,192	38,264	170
令和４年度	304	2,873	3,644	164	19	5,129	10,829	36,321	184

利用実績（青少年センター　２階／世代交流センター）

	開館日数	青少年センター/２階		世代交流センター			利用人数合計
		件数(貸館)	利用人数(貸館)	件数(貸館)	利用人数(貸館)	利用人数(一般開放)	
平成30年度	303	125	2,930	139	4,346	2,448	9,724
令和元年度	277	62	1,443	75	2,311	804	4,558
令和２年度	263	49	580	22	904	303	1,787
令和３年度	303	53	573	2	32	151	756
令和４年度	304	48	579	8	1,107	815	2,501

定期的な活動（青少年センター　２階／世代交流センター）

月			火			木			金		
午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
子育て支援活動 （不定期開催） 青少年センター 世代交流センター				幼児・親子 スポーツクラブ （12時～15時） 青少年センター 世代交流センター					読み聞かせの会 （10時～16時 第2・4週） 青少年センター		

４.既存施設の利用状況

※基本計画より

■既存施設の料金

倶知安町営プール　個人使用　※夏休みの期間中は、小学生無料、中学生50円

使用区分	学生･一般	高校生	小中学生
1回券	330円	220円	110円
12回券	3,300円	2,200円	1,100円

団体使用

使用区分	学生・一般	高校生	小中学生
１コース １時間あたり	1,100円	880円	330円

倶知安町世代交流センター

区分	午前	午後	夜間（火･金のみ）
使用料	5,300円	9,600円	9,400円

・営利目的（入場料徴収するもの）：使用料２倍
・営業に使用するもの（商品展示･販売）：使用料70%増額
・11月1日～4月30日：暖房料として50%増額
・土曜･日曜及び休日：50%増額
・個人、町民の子育て･育児サークル、町内会主催レクリエーション等：無料
・倶知安町体育協会、文化協会主催事業、町内幼稚園等：80%減免

倶知安町青少年センター（絵本館）　無料

■既存施設の開館時間

施設	倶知安町営プール	倶知安町青少年センター（絵本館）	倶知安町世代交流センター
時間	10：00~20：30 土日祝　10：00~18：00	10：00~18：00	9：00～18:00 火･木　9：00～21:00
休館日	月曜日	水曜日	水曜日

■新施設の想定

●開館時間は現状を基本とし平日午前のプールは学校授業との併用を前提に想定。休館日及び夜間の営業時間がそれぞれ異なることから、それぞれの施設特性と複合的な活用を踏まえ設定
●プール利用料金は現状を基本とし、１回単位の利用料のほか回数券や期間利用券など利用者ニーズに合わせた料金設定を想定
冬期の暖房料については開館期間に応じて検討する。
●絵本館は引き続き無料を前提とし、世代交流センター（多目的ルーム）は時間単位の料金を設定するなど多様な活用は見据えて設定
●各施設の利用や絵本貸出などにあたっては、利用カードを統一するなど効率化及びDX化を図る

5.新施設の利用想定（KPI）

■新施設の利用者の想定（KPI）

① 施設利用人数　42,000人

プール利用者数　30,000人

【主な内訳】

・夏期(6-9月)の利用数	9,100人
・夏期外(4-5/10-3月)の利用数	15,400人
・学校授業等	3,000人
・指定管理事業者の自主事業	2,400人

【利用収入想定】
1,800,000円

【自主事業収入想定】
4,800,000円

多目的ルーム貸館利用者数　12,000人

【主な内訳】

・イベント等での利用	7,200人
・サークル団体の利用	2,500人
・放課後子ども教室	1,230人
・幼児/シニア世代利用	300人
・読み聞かせ活動/読書会の利用数	360人
・プール大会控室としての利用	320人

【利用収入想定】
400,000円

※多目的ルーム及び絵本館の個人利用者数は、人数カウントが困難なため合計利用人数には含まない。

- 新施設開業に伴い個人・サークル等のコロナ前(R1)の利用者×120%を目標とする。
- 夏期外（旧プール営業期間外）の利用者は、先進地域の利用比率により推計、冬季需要は総合体育館（トレーニング室）の利用実績を参考とした。
- 夏期外の町外利用の需要は、サークル団体からのヒアリングをもとに推計
- 指定管理者制度の実施する水泳教室等の自主事業の実施を想定（5コース※15名定員×8回×年4ターム程度）

- 多目的ルームの利用者数は、コロナ前（H30）の青少年センター・世代交流センターの貸館実績に加え、放課後子ども教室やサークル活動、保育所や認定こども園の利用、シニアの利用などを加えた12,000人を目標とする。

- 利用収入の想定は【過去の利用単価×利用人数】により推計

② 絵本館図書の貸出冊数　47,000冊

【主な内訳】
- 学校/認定こども園等との連携
- 北海道立図書館の一括貸出の活用
- 絵本館まつりの開催　等

- 絵本館の貸出冊数目標はコロナ前(H30)の貸出冊数×120%を想定。
- 利用促進活動により第５次北海道子どもの読書活動計画(R5)の目標指数「家や図書館で普段１日10分以上読書をする割合」57.1%⇒73.0%の達成を目標とする。

6.維持管理費用の想定

※基本計画より

■維持管理費用及び長寿命化計画

●運用コストや保全コストは類似施設の実績値を参考とし、更新工事費は15年後・45年後の改修で新築の25%、30年後の大規模改修で新築の75%の工事費になると想定する。竣工から60年間のライフサイクルコストは約81億円（税込）となる。
●計画の実現に向け、長寿命化に配慮した材料や設備機器を選定し、施設整備後は維持保全に係る各種データを適切に管理するなど効率的な維持保全を図るものとする

区分	費用項目	60年間のライフサイクルコスト ※基本計画時点	1年間のランニングコスト	備考
建設コスト	設計費	100		他都市事例から㎡単価を算出。 文献のモデル建物をベースに項目別費用を計算。
	地盤調査費、測量費	20		
	建築工事費計	1,690		
	電気設備工事費	183		
	機械設備工事費計	130		
	工事監理費	70		
運用コスト	電気	606	10	類似事例より 絵本館・多目的ルームは過去の平均より
	燃料費	864	15	
	水道	180	3	
保全コスト	点検・保守費	423	7	類似事例より
	事務費・清掃費など	234	4	
	分解整備等費、修繕工事費	461		新築工事費×比率
	改修工事、大規模改修工事費	2,503		
	改修工事　設計費、工事監理費	345		
解体処分コスト	解体工事、廃棄処分費	234		類似事例より
	合計	8,043	39	（税込・百万円）

<参考　人件費>

施設	1年の金額（百万円）
プール	26
絵本館	6
計	32

※プールは類似事例の必要人員、
　絵本館は既存人員から算出
※運営に係る最低人員での算出のため
　自主事業等を想定する場合は追加となる

1年間のランニングコスト
（運用・保全コスト）＋人件費

7,100万円（税込）

設計から60年間の
ライフサイクルコスト

約81億円（税込）

※参考

倶知安町地域福祉リーディングプラン

いつまでも住み続けたい町〜くっちゃん〜

くっきりした福祉課題を探り

ちゃんとした地域福祉を目指す

令和４年３月

倶知安町

倶知安町社会福祉協議会

Ⅱ 倶知安町の地域福祉を取り巻く現状と課題

１　人口、世帯数の推移と予測等　(6)高齢者の状況

ア　65 歳以上の方がいる世帯と構成割合(単身・夫婦世帯)の状況

		平成17年	平成22年	平成27年	平成30年	令和元年	令和２年
倶知安町（世帯）	単身世帯（割合）	554 (24.1%)	664 (26.5%)	739 (25.8%)	1,184 (40.3%)	1,198 (40.2%)	1,214 (41.0%)
	夫婦世帯（割合）	688 (29.9%)	702 (28.1%)	790 (27.6%)	819 (27.9%)	800 (26.9%)	769 (25.7%)
	65 歳以上の世帯員のいる世帯(割合)	1,056 (45.9%)	1,136 (45.4%)	1,334 (46.6%)	935 (31.8%)	981 (32.9%)	1,008 (33.3%)
65歳以上の方いる世帯数（全世帯に占める割合）		2,298 (32.6%)	2,502 (35.2%)	2,863 (41.0%)	2,938 (36.3%)	2,979 (34.6%)	2,991 (37.6%)
北海道（世帯）	単身世帯（割合）	212,086 (16.7%)	261,553 (18.2%)	319,408 (19.4%)	－	－	－
	夫婦世帯（割合）	263,946 (20.8%)	292,775 (31.1%)	327,509 (19.9%)	－	－	－
	65 歳以上の世帯員のいる世帯(割合)	793,637 (27.5%)	884,711 (41.8%)	999,133 (60.7%)	－	－	－
65 歳以上の方いる世帯数（全世帯に占める割合）		1269,669 (53.3%)	1439,039 (59.4%)	1646,050 (67.3%)	－	－	－

出典：H17～H27 国勢調査、H30～R2 町福祉医療課

※参考

3　地域住民の意識

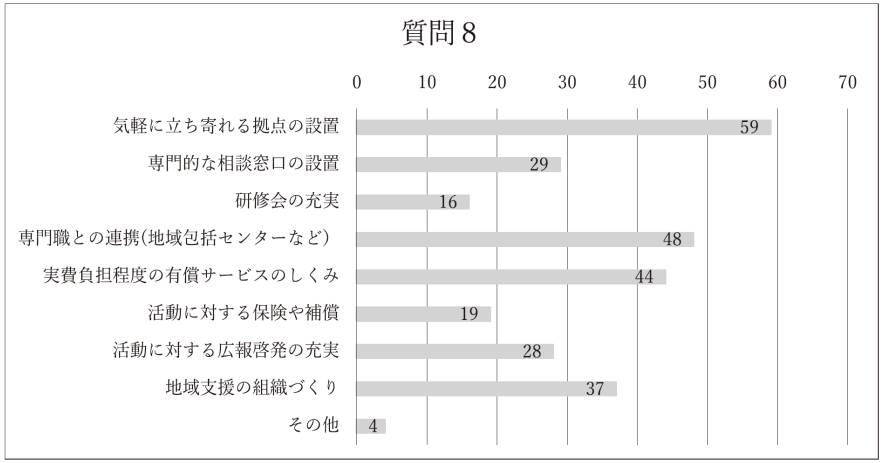
(4) 子どもプラン調査：アンケート調査

※第２期 倶知安町子どもプラン（R２.３）より

（４）子どもプラン調査：アンケート調査　データ H31.２　　ｎ：(回答者数)

まちに充実を図ってほしい子育て支援（上位 10）：就学前児童及び小学生の保護者

	就学前児童の保護者　ｎ＝356	小学生の保護者　ｎ＝277
1	一時預かりや病後児保育などの保育サービスを充実してほしい　53.1%	子どもが安心して遊べる公園などを整備してほしい　56.0%
2	親子が安心して楽しめる身近な場を整備してほしい　45.8%	親子が安心して楽しめる身近な場を整備してほしい　40.8%
3	子育て世帯への経済的援助を拡充してほしい　45.5%	安心して子どもが医療機関に係れる体制を整備してほしい（医療費助成など含む）　40.8%
4	子どもが安心して遊べる公園などを整備してほしい　45.2%	子育て世帯への経済的援助を拡充してほしい　38.6%
5	子どもを連れて外出しやすい環境を整備してほしい　36.2%	放課後児童クラブを充実してほしい（時間の延長など）　31.4%
6	安心して子どもが医療機関に係れる体制を整備してほしい（医療費助成など含む）32.6%	子どもを連れて外出しやすい環境を整備してほしい　23.5%
7	専業主婦など誰でも気軽に利用できる保育サービスがほしい　27.0%	休日に親子で楽しめるイベントを充実してほしい　18.1%
8	休日に親子で楽しめるイベントを充実してほしい　24.4%	残業時間の短縮や育児休業の取得促進など、企業に対して働きかけてほしい　14.4%
9	残業時間の短縮や育児休業の取得促進など、企業に対して働きかけてほしい　14.3%	公営住宅の優先入居など、住宅面の配慮がほしい　12.3%
10	公営住宅の優先入居など、住宅面の配慮がほしい　12.4%	地域で子育てを支援するネットワークを充実してほしい　9.4%

(7) 倶知安町地域福祉計画策定に向けた福祉アンケート調査の結果概要について　※第１期倶知安町地域福祉計画（R4.3）より

質問８．　質問７で【今後、地域として支援が必要だと思う取り組み】についておたずねしましたが、どのような体制や援助があると、取り組みやすいと思いますか？（○はいくつでも）